

発行 車体発 15 第 198 号

2016年3月17日

2016年度（平成28年度）トレーラー国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2016年度のトレーラー国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2015年度のトレーラー需要見込み

2015年度のトレーラー需要は7,100台・前年比111%になるものと見込まれる。

消費関連と生産関連貨物の増加等により、バンが前年比117%、コンテナ用が同116%と台数を押し上げた。一方でその他特装系のダンプは復興需要が一巡した模様で前年並みとなった。

2. 2016年度のトレーラー需要見通し

2016年度については、日本経済は企業収益が好調に推移し賃金増が期待できるとともに原油安も奏功し緩やかな回復基調で推移することが期待されている。

商用車需要は、景気回復に支えられた代替需要、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催準備の本格化による需要、そして引き続きの経済対策による公共投資により安定的に推移するものと予想される。

こうしたことから、トレーラー総需要は7,300台、2015年度比103%と見込まれる。

・2016年度トレーラー国内需要見通し

(単位:台)

年 度	2014年度	2015年度	2016年度	対前年比	
	(A) 実績	(B) 見通し	(C) 予測	2015年度 (B/A)	2016年度 (C/B)
合 計	6,394	7,100	7,300	111.0%	102.8%
形 状	コンテナ用	1,634	1,900	2,000	116.3%
	バン	1,708	2,000	2,100	117.1%
	平床・低床	1,873	2,000	2,000	106.8%
	その他特装系	1,179	1,200	1,200	101.8%

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラーとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラー、ボートトレーラーなどは除く。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会事務局:阿部